

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-114

補助事業名 平成24年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

映画の第3次革命と称されるデジタルシネマにフォーカスしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭を開催する。世界各国から作品を募集し、第一次審査を経てノミネートされた作品を映画祭会場で上映し、厳正な審査によって優秀作品を選んで表彰する。当映画祭の開催を通じ、未来の映像業界を担う若い才能を発掘・育成し、また、地域の住民が良質且つ最先端の映像文化に触れる機会を提供する。これにより、個性豊かな地域文化の創造と活力ある地域の発展を実現するとともに、21世紀の映像文化の健全な発展を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。また、地元川口市のオートレース事業を映画祭来場者に広くPRし、レジャースポーツとしての理解の増進を図り、オートレース事業の一層の発展への寄与も目指す。

(2) 実施内容

【会 期】2012年7月14日（土）～22日（日）

【開催地】SKIPシティ（埼玉県川口市上青木3-12-63）



ア. 映画祭は、オープニングセレモニーに続き、オープニング作品『青木ヶ原』（“Dシネマの潮流2012”）のプレミア上映で幕を開けた。石原慎太郎東京都知事が製作総指揮に当たった純愛映画で、劇場公開は2013年の予定である。

イ. コンペティション部門：世界各国からデジタル作品に限定した映画を募集し、世界84の国と地域から571本（うち国内54本）の長編作品と国内から159本の短編作品の応募があった。長編12名、短編3名からなる一次審査委員会が、映画祭で上映する作品の選考に当たり、海外長編9作品、国内長編3作品、短編15作品を選んだ。ここで選ばれたノミネート作品を、期間中に各2回ずつ上映し、河井真也氏（映画プロデューサー）を審査委員長とする国際審査委員と、榎井省志氏（映画プロデューサー）を審査委員長とする短編審査委員による厳正な審査を経て、長編は、最優秀作品賞、監督賞、脚本賞、審査員特別賞各1作品、短編は、最優秀作品賞1作品と奨励賞2作品を選定し、トロフィー・賞状・賞金を贈り表彰した。なお、SKIPシティアワードは、国内作品を対象にしており、選ばれた作品には、受賞者の次回長編映画に対する制作支援を行うこととなっている。受賞作品は次の通りである。

【長編】最優秀作品賞 『二番目の妻』（オーストリア）、監督賞『チチを撮りに』（日本）、脚本賞『旅の始まり』（オランダ）、審査員特別賞『ノノ』（フィリピン）、SKIPシティアワード『チチを撮りに』（日本）。

【短編】最優秀作品賞『ユメのおと』、奨励賞『小さなユリと 第一章・土方の三十分』、『トゥルボウ』。



ウ. 招待作品は、韓国映画『カウントダウン』。冷酷な取立て屋と女詐欺師が繰り広げるアクション・ドラマで、多くの韓流ファンが手に汗を握った。

エ. 当映画祭の定番となった今年のシネマ歌舞伎は、『天守物語』（泉鏡花原作、坂東玉三郎主演）。常連の多数の歌舞伎ファンで会場は満席となった。

オ. SKIPシティセレクションとして、バラエティに富んだラインアップで3作品を上映した。a) ミラノ・スカラ座の舞台を、臨場感あふれる音響と高画質のス

クリーンで再現し、その圧倒的迫力が観客を魅了したLivespire『カルメン』、b) 劇場未公開の新作で、アフガニスタンの大自然の中で暮らす家族を描く再生と共生をテーマにした詩情豊かな物語『春、一番最初に降る雨』、c) LAを舞台にミニ・クーパーが駆け巡るクルマ好き必見のクライム・アクション『ミニミニ大作戦』。

カ. 関連企画として、地域での映像制作振興を目指した様々な行事を開催した。
(イ) JUMP!今、埼玉から世界へ～世界が期待する若手映像作家とは?～、(ロ) メイド・インSKIPシティ (コバトンTHEムービー新作上映&トークイベント、D-MAP2012監督発表)、(ハ) カメラ・クレヨン『親子で楽しむ映画の世界』(世界のアニメーションを楽しもう、子供たちが作ったCMを観よう、川口子ども映画クラブ2012製作発表)、(ニ) バリアフリー上映 (日本語字幕+音声ガイド付)『アントキノイノチ』。

キ. 地域との賑わいを創出するための関連市民イベントとして、ふれあいイベント、野外映画会、軽音楽コンサート、ごみまるふわふわで遊ぼう、SKIPシティ盆踊り、一日動物村、上映作品と連動した自動車展示等を開催した。臨時保育所は、普段は映画館に行く機会が持てないお母さん達のニーズに応えるサービスとして好評を得た。



【成果】

- ・ 長編コンペティション部門 (海外) 応募作品数
517作品 (目標 400作品/前回 423作品)
- ・ 国内長編コンペティション部門 (国内) 応募作品数
54作品 (目標 50作品/前回 71作品)
- ・ 短編コンペティション部門応募作品数
159作品 (目標 180作品/前回 189作品)
- ・ 総観客数 8,077名 (目標 6,600名/前回 6,690名)
- ・ 総来場者数 44,333名 (目標 34,000名/前回 36,944名)
- ・ 応募国数 84の国と地域 (前回 81の国と地域)

2. 予想される事業実施効果

当映画祭の開催により、地元住民及び首都圏から来場した映画ファンが、内容・技術両面で良質な映画に触れられる機会を提供し、また、世界各地から招聘した映画関係者と我が国の映像業界関係者及び観客、地域住民との国際交流の場づくりを演出した。これにより、映画文化の健全な育成と発展に大きく貢献した。今後は、川口市及び埼玉県を中心に地域における映画文化の育成・発展が一層進み、また、多くの若い監督が映画界で認められ第一線で活躍することをつうじて日本のみならず世界の映画産業、映画文化がより活性化することが期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

開催告知ガイド(和文) A2

開催告知ガイド(英文) A2



シネマロードイベント・チラシ



開催告知ポスター B1

開催告知ポスター B2

開催告知ポスター B3



開催告知ポスター B6 (シールタイプ)



公式プログラム



4. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

住所： 333-0845

川口市上青木西1-20-3 産業文化会館206

代表者名： 理事長 田中 一成（タナカ カズナリ）

担当部署： 本部（ホンブ）

担当者名： 事務局長 浅見 洋子（アサミ ヨウコ）

電話番号： 048-259-3421

F A X： 048-253-1305

E-mail： eizov@bf7.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.eizov.com/index.php>

<http://www.skipcity-dcf.jp/>